



短期的なトレード（ストレス大）



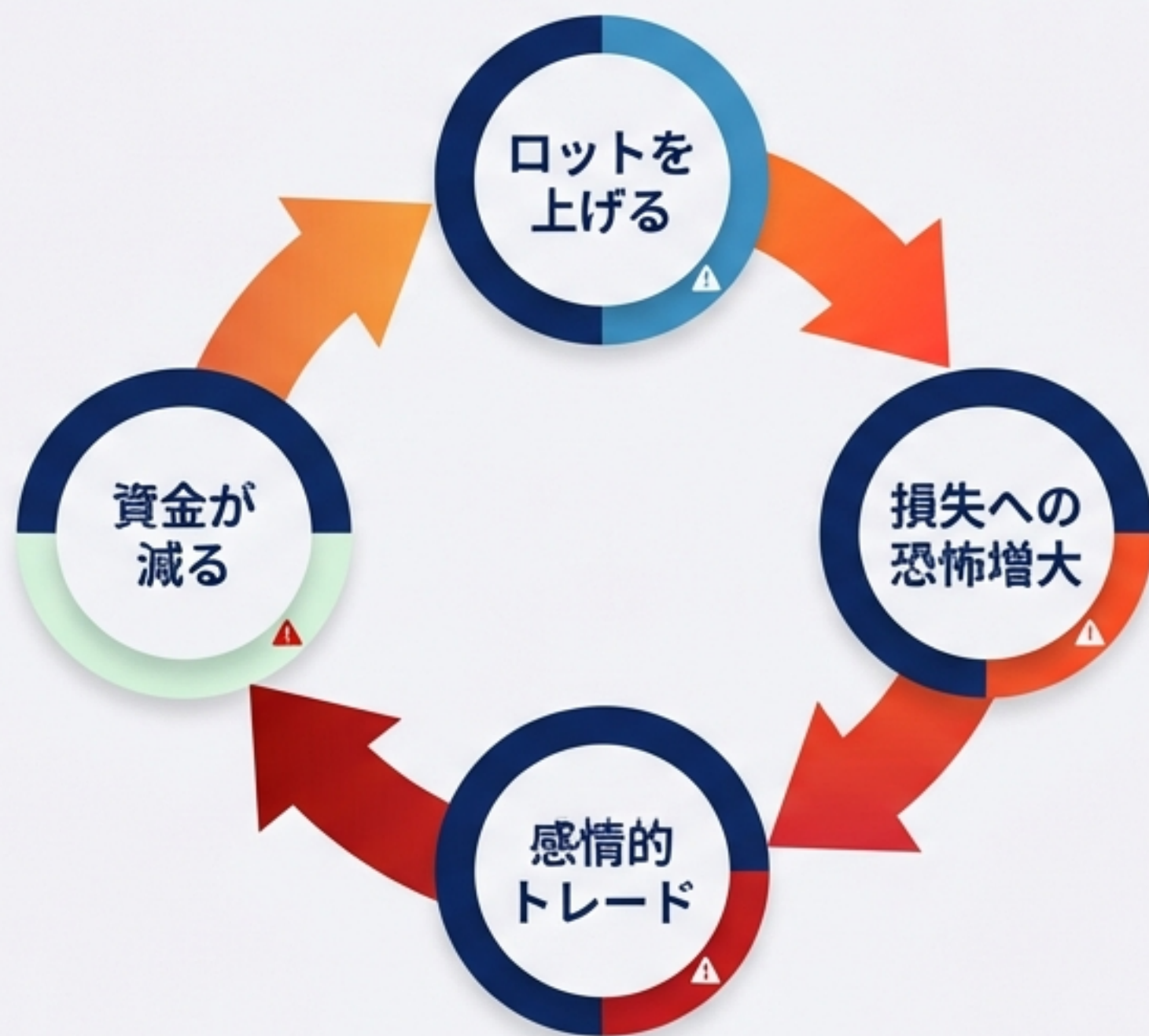
FX複利運用（安定と成長）

メンタルを守りながら資産を増やす

続けられる「FX複利運用」の新しい教科書

A guide for traders seeking longevity over adrenaline.

複利運用の「罠」：ロット増加の心理的負荷



“ 「理論的には見栄えがいいけど、実際やってみると心理的にもかなりキツイ」 ”

新しいルール：口座残高と計算を切り離す

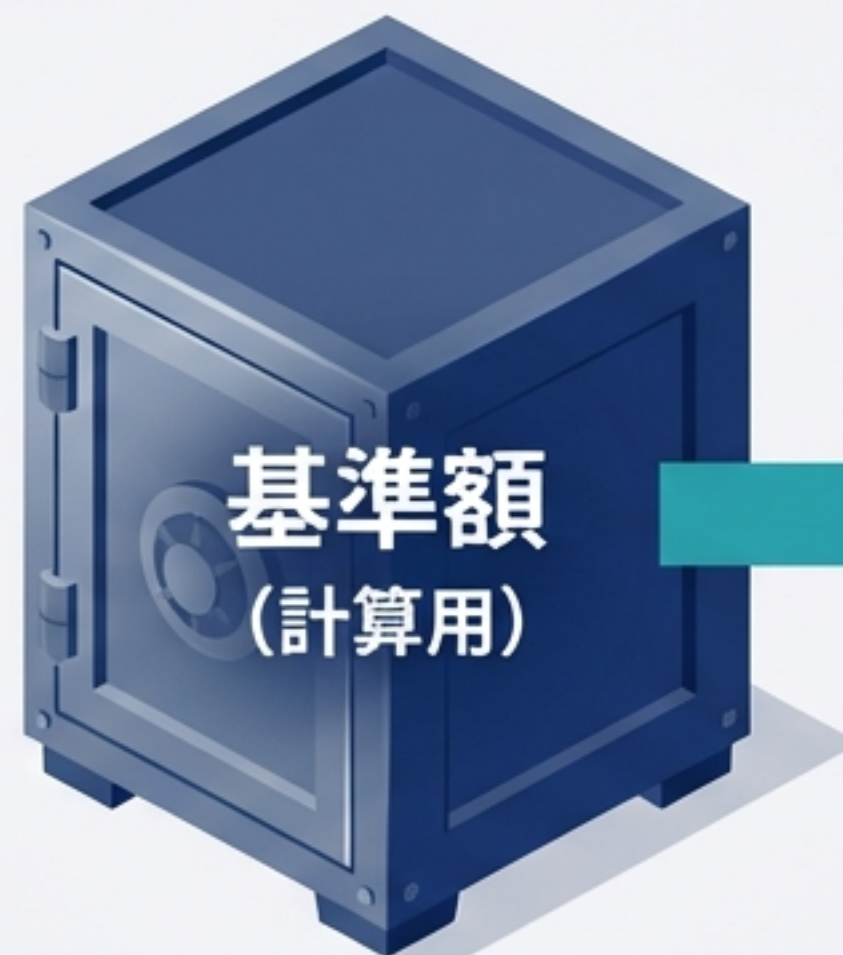
Traditional



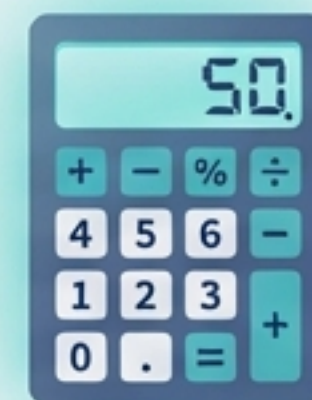
The Pivot



Container A

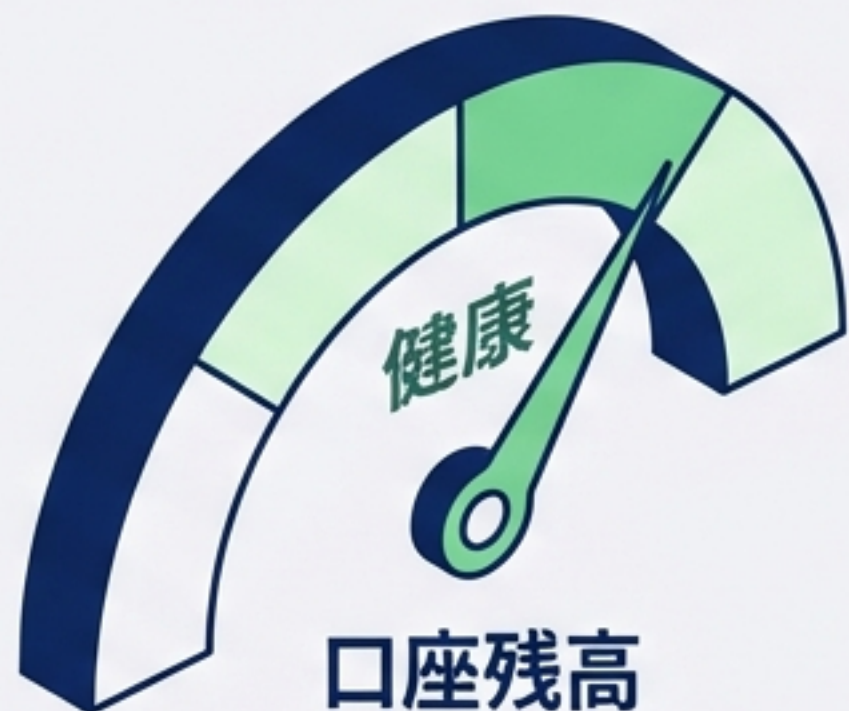


Container B



日々のトレードは安定させる＋変えるのは節目だけ

口座残高は「判断材料」としてのみ使う

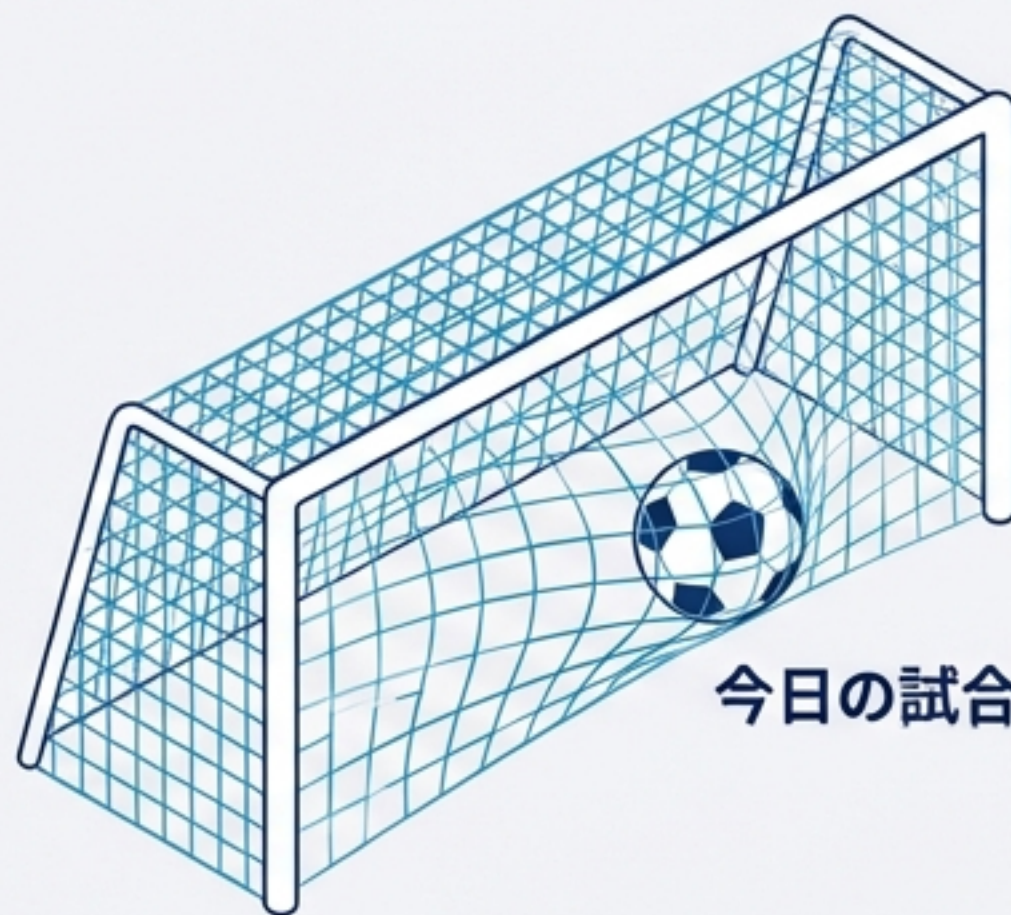


- ☑ 資金は増えているか？
- ☑ 資金は減っていないか？
- ☑ 基準を見直す段階に入っているか？

口座残高 = 健康状態のモニター

口座残高 ≠ アクセルペダル

ロット計算の出発点：「リスク算出額」



今日の試合で許容できる失点

[基準額]

×

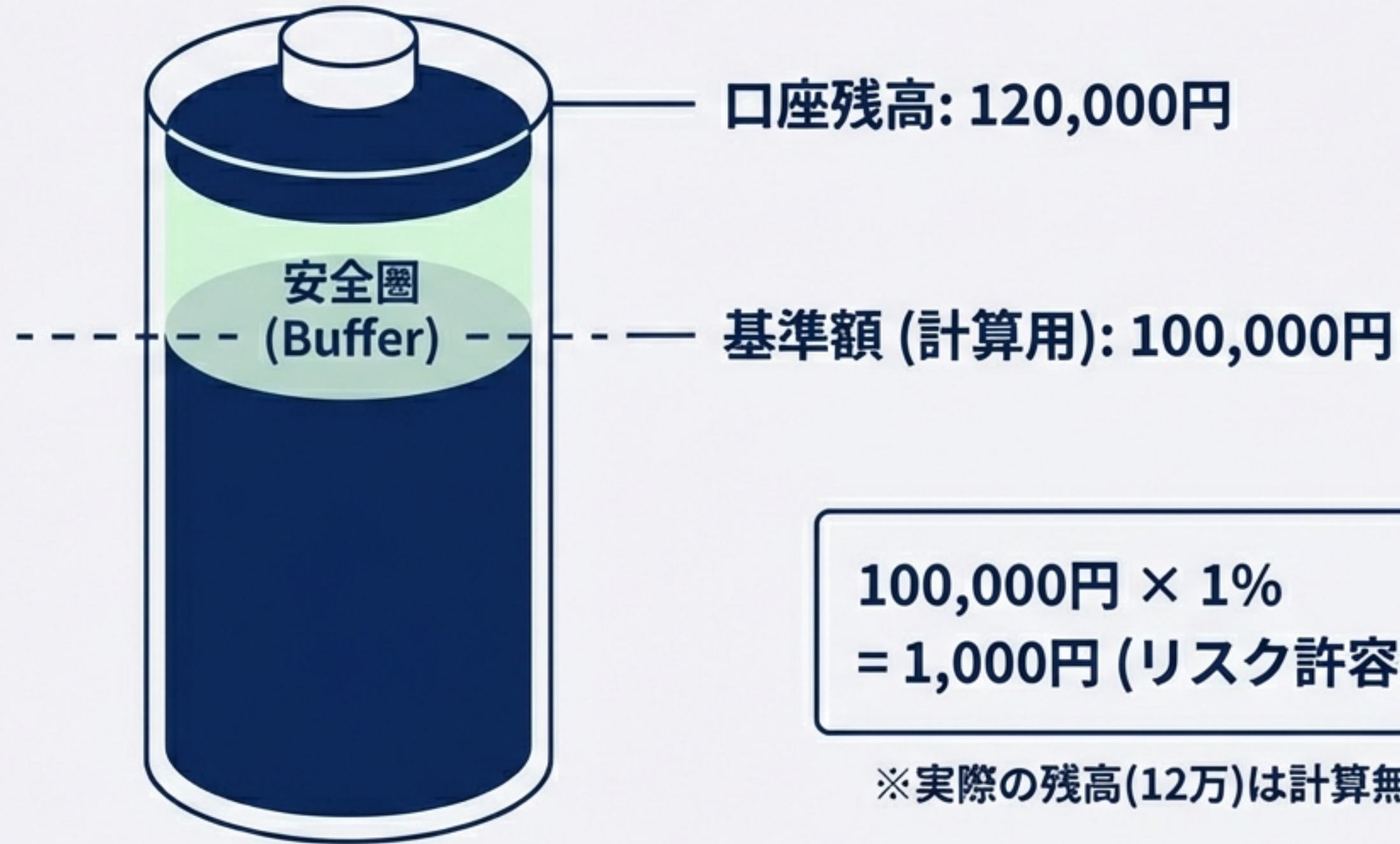
[リスク率 (%)]

=

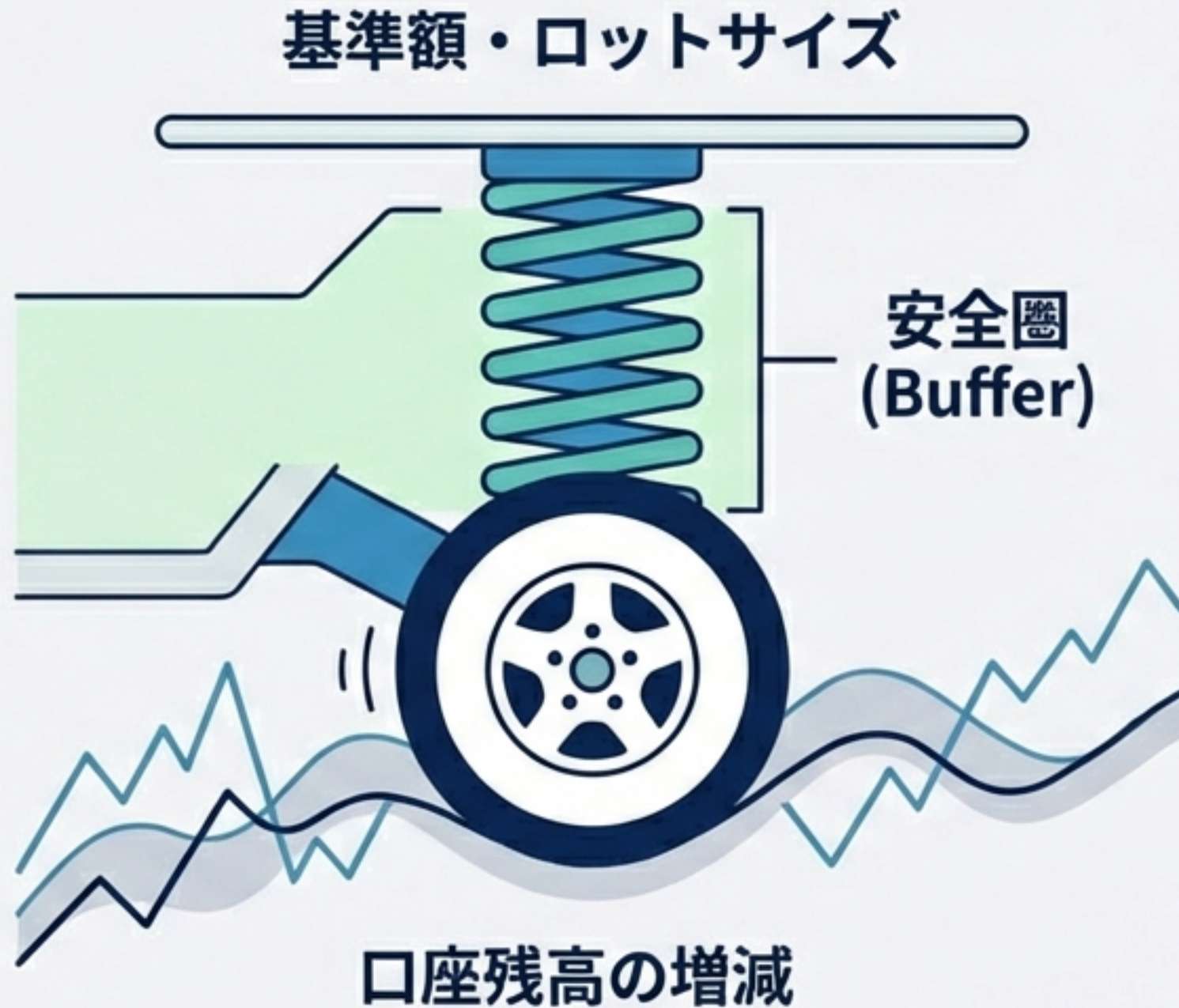
[リスク算出額]

1トレードで失ってよい金額の上限

具体例：12万円持っていても、10万円として振る舞う



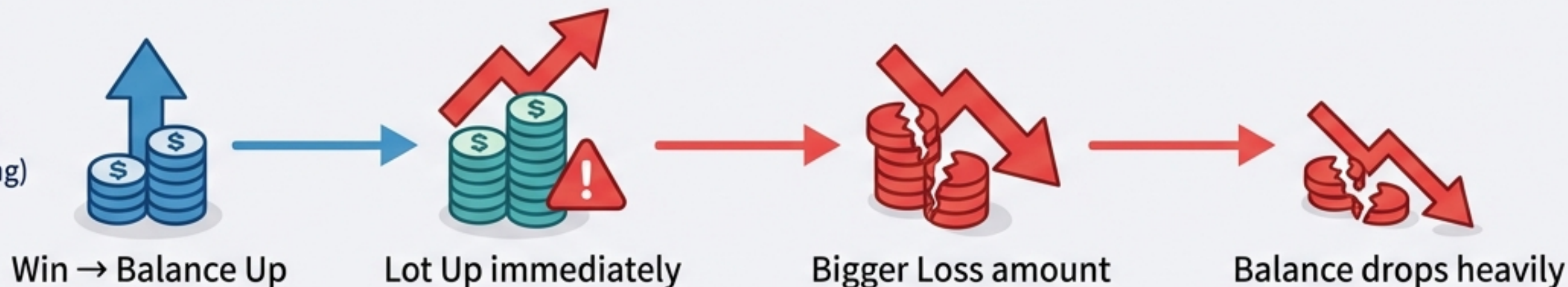
なぜ「安全圏」を作るのか？



- 残高が 12万円 ➡ 11万円に減っても…
- 基準額（10万円）は変わらないため、ロットサイズは維持される。
- 結論：メンタルが揺らがない。

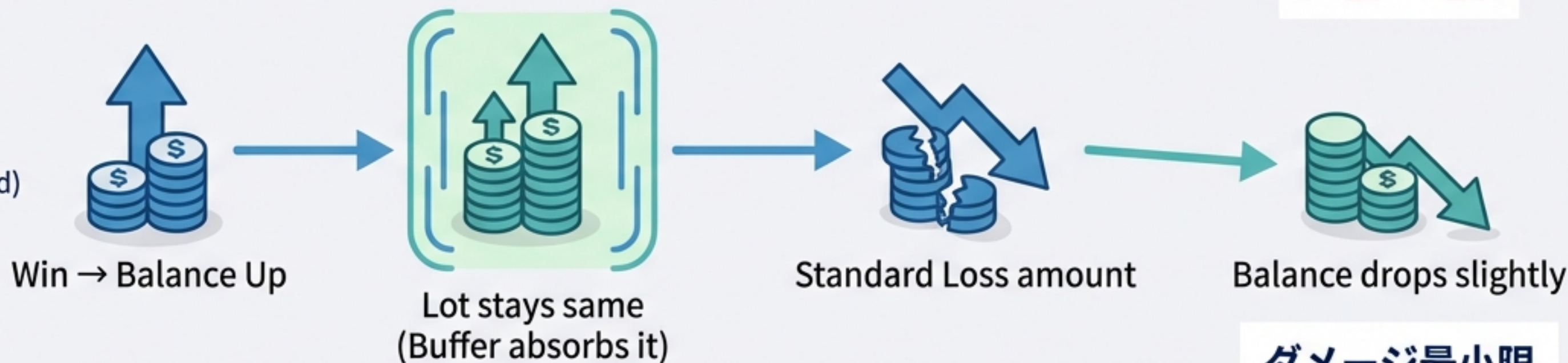
「逆複利」の罠を回避する

一般的な複利 (General Compounding)



回復が困難

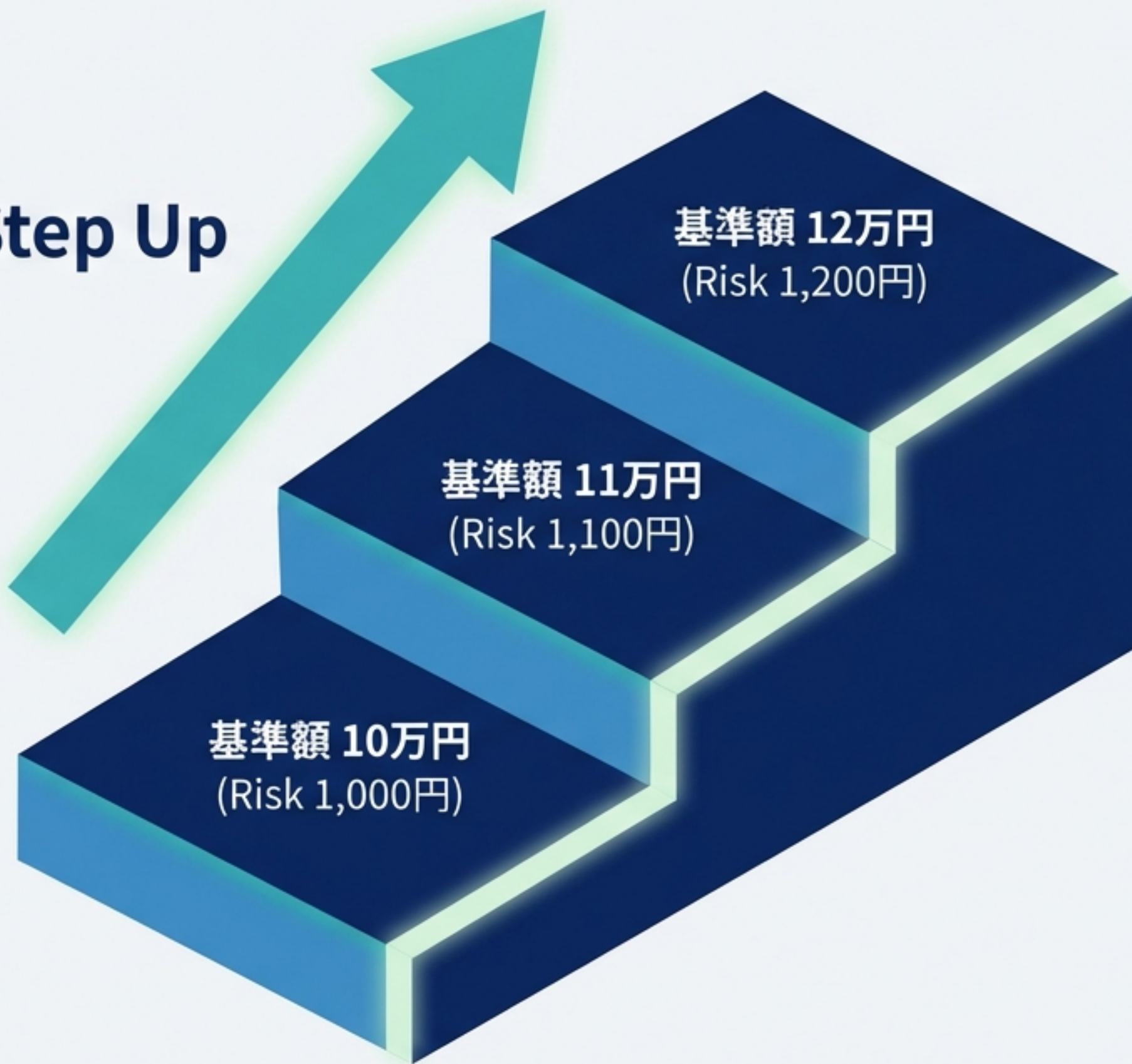
基準額方式 (Base Amount Method)



ダメージ最小限

逆複利 (Reverse Compounding): ロットを上げた直後の負けが、資金を大きく削る現象

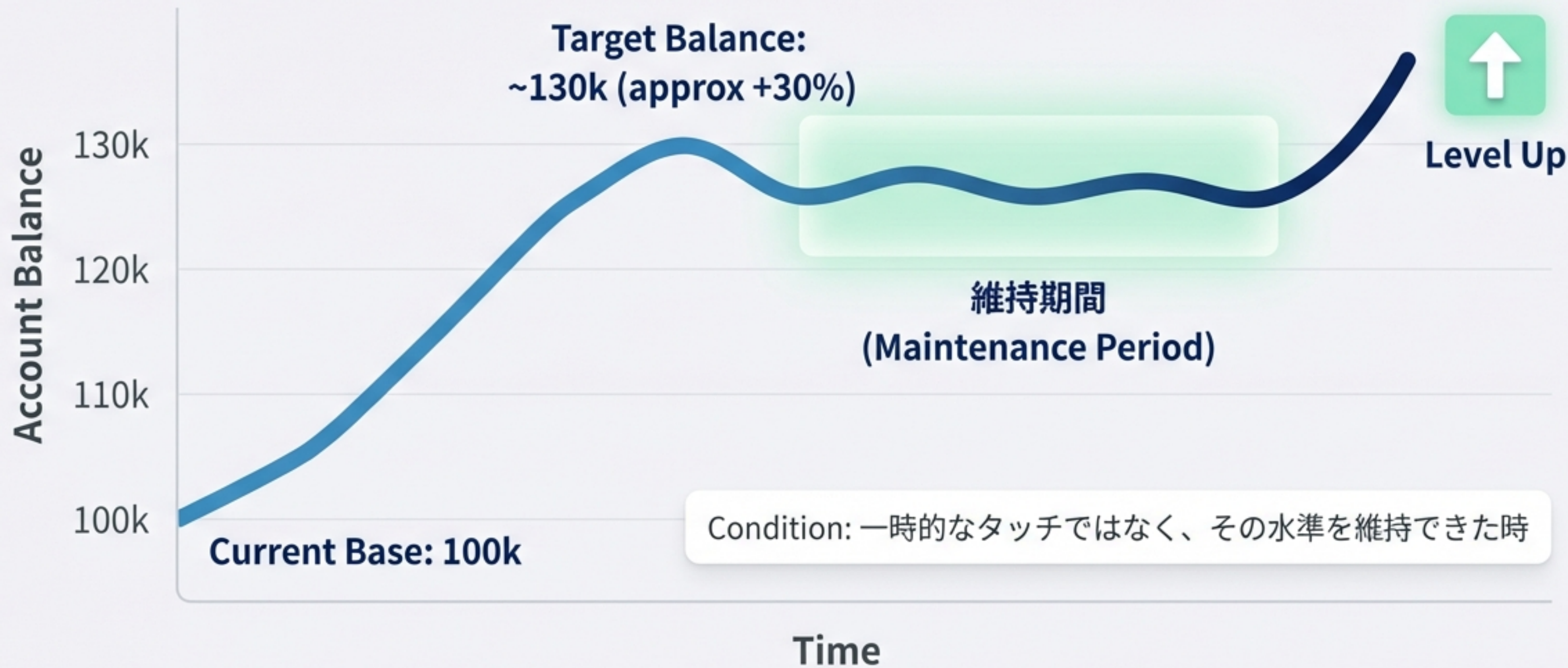
Step Up



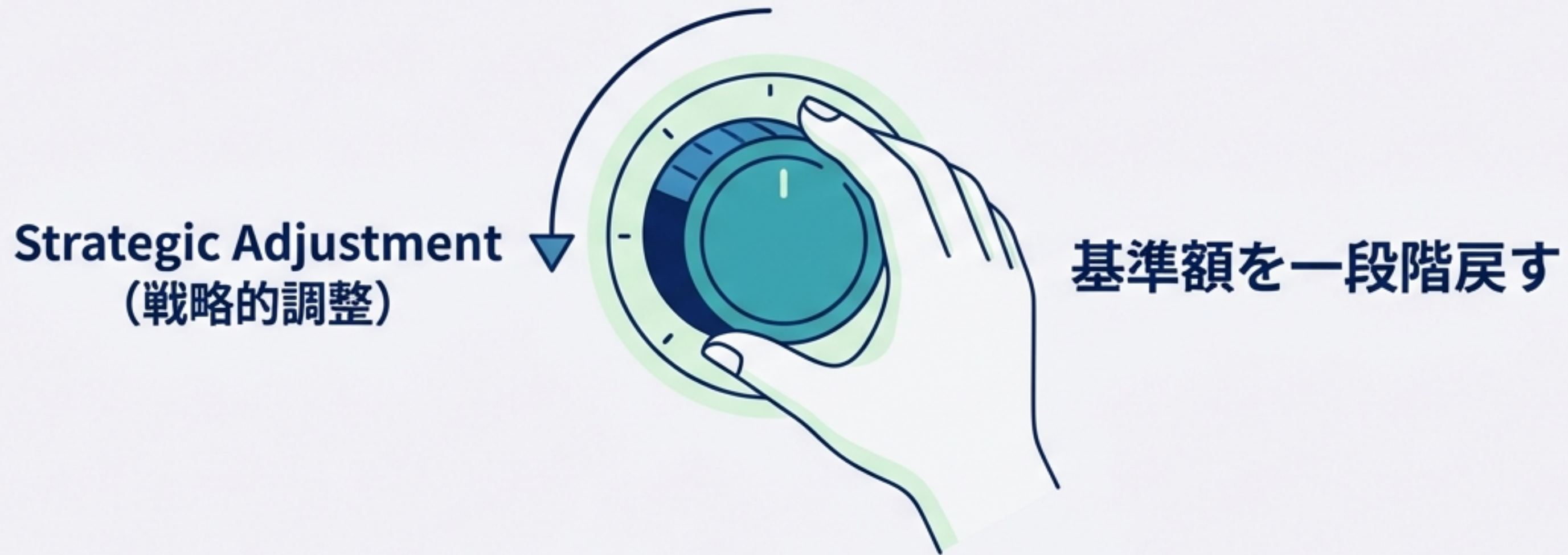
複利の正体：ロットではなく「基準額」を見直す

ロットを直接いじるのではなく、土台となる基準額を一段ずつ上げていく。

基準額を上げるタイミング：キーワードは「維持」



資金が減った時の対応：「調整」は負けではない



無理に維持して大怪我をするより、素直に下げるのがプロの鉄則。

「これは負けではない。リズムを取り戻すための調整だ」

まとめ：実行しやすい複利運用の5つの鉄則



口座残高はあくまで「メーター」として見る



ロット計算は「基準額」から行う



常に「安全圏（バッファ）」を確保する



成長は「階段状（ステップ）」で考える



レベルアップは「維持」できてから

複利は「急ぐため」ではなく「続けるため」のツール



FX複利運用は、無理なく続けるための調整ルールです。

免責事項

本記事は、FX取引における資金管理や複利運用の考え方について、一般的・実務的な視点から整理したものです。特定の投資手法や収益を保証するものではありません。FX取引には元本割れのリスクが伴います。実際の取引にあたっては、ご自身の判断と責任のもとで行ってください。